

呼吸器外科に、肺がんにて過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に関する情報公開文書）

北海道がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録や保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和4年3月10日一部改正、令和5年3月27日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道がんセンター倫理審査委員会で承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

【研究課題名】

肺がん患者の術前サルコペニアと術後早期離床との関連：後ろ向きケースコントロール研究

【研究機関名・長の氏名】

北海道がんセンター 院長 平賀 博明

【研究代表者名・所属】

北海道がんセンター リハビリテーション科 言語聴覚士 藤嶋亮太

【研究の目的】

本研究では、手術前にご協力いただいた身体機能や骨密度などの評価と、手術後の自立歩行獲得までの日数との関連を検討します。それにより、今後当院で肺がんの手術を受けられる患者さんの手術前後のリハビリテーションについて再検討することを目的としております。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

当院呼吸器外科で2023年12月1日から2024年2月29日の間に肺切除を受けた患者さんで、手術の前に骨密度検査や理学療法士による各種評価を受けた方。

○利用する検体・カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、病期、PS、BMI、BI、手術情報、術後合併症、ドレーン抜去日、手術前のサルコペニア評価（握力、立ち上がりテスト）、術後離床に要した日数、検査結果（呼吸機能検査、骨密度検査）など

本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

○具体的な研究内容

肺切除術を受けた肺がん患者さんの術前サルコペニアと術後の歩行自立までの日数について検証し、より良い治療戦略について考察することを目的としております。

当院において肺切除術を受けた肺がん患者さんの手術内容と診療情報を集積し、手術前のサルコペニアの有無と、術後の歩行自立までの日数について解析します。

診療情報は診療録より収集します。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

20XX年X月（倫理審査委員会による実施許可日）～2025年3月31日

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は〇〇〇〇年〇月〇日までに（研究公表日から半年後程度）以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものとしたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道がんセンター リハビリテーション科

担当：藤嶋亮太

住所：〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号

電話：011-811-9111

FAX：011-832-0652